

第2部 市町村の現状

第 1 章 地域別人口

(1) 5圏域別人口

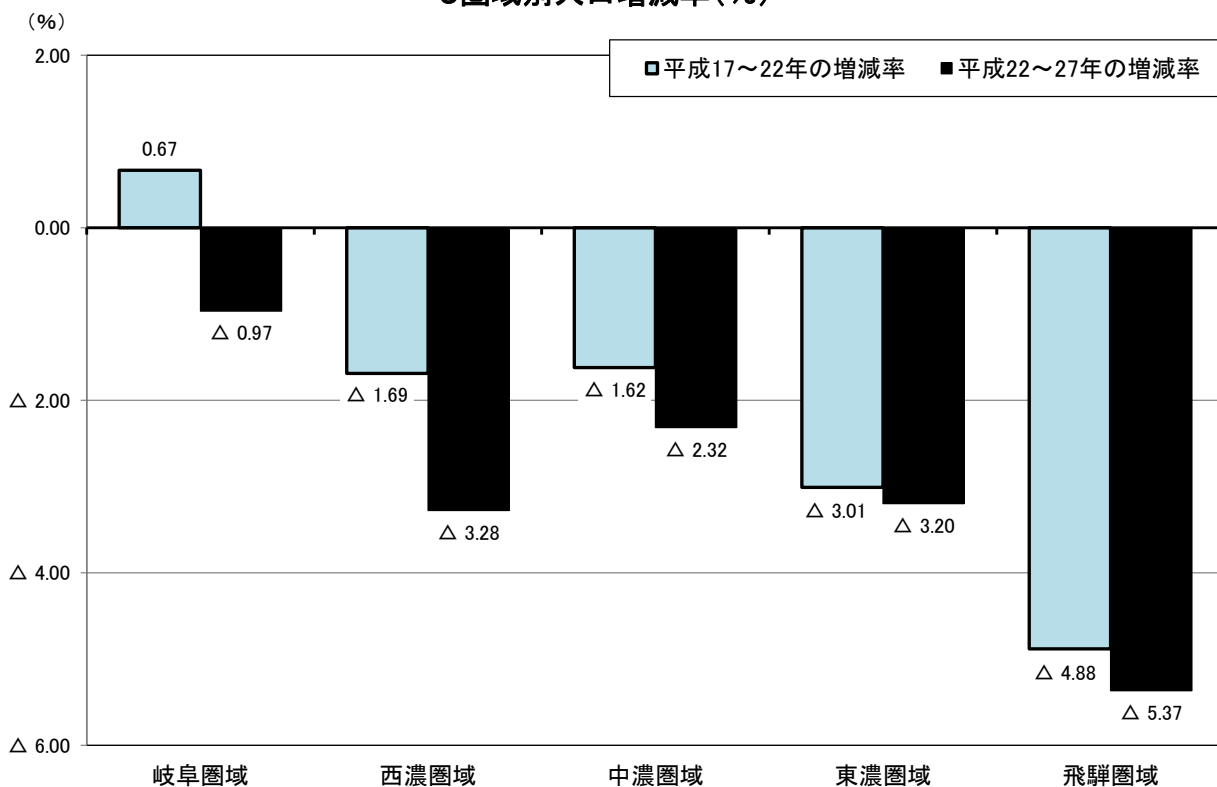
○これまで増加していた岐阜圏域が減少に転じ、すべての圏域で人口は減少

(岐阜圏域も減少に転じた)

平成 27 年 10 月 1 日現在の岐阜県の人口を 5 圏域別にみると、岐阜圏域が 79 万 9766 人（県人口に占める割合 39.4%）と最も多く、次いで中濃圏域が 37 万 3712 人（同 18.4%）、西濃圏域が 37 万 2399 人（同 18.3%）、東濃圏域は 33 万 6954 人（同 16.6%）となり、人口が最も少ない飛騨圏域は 14 万 9072 人（同 7.3%）となっている。

平成 22 年からの人口増減をみると、これまで増加していた岐阜圏域が減少に転じ、すべての圏域で人口は減少している。一方、他の 4 圏域は、飛騨圏域は昭和 55 年から、東濃圏域は平成 12 年から、西濃圏域は平成 17 年から、中濃圏域は平成 22 年から人口が減少しており、平成 22 年に比べ減少幅はそれぞれ拡大した。

5圏域別人口増減率(%)



出典:総務省「国勢調査」

5圏域別人口の増減

	平成17年 (人)	平成22年 (人)	平成27年 (人)	平成17～22年の増減		平成22～27年の増減	
				増減数 (人)	増減率 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
県計	2,107,226	2,080,773	2,031,903	△ 26,453	△ 1.26	△ 48,870	△ 2.35
岐阜圏域	802,218	807,571	799,766	5,353	0.67	△ 7,805	△ 0.97
西濃圏域	391,637	385,021	372,399	△ 6,616	△ 1.69	△ 12,622	△ 3.28
中濃圏域	388,877	382,570	373,712	△ 6,307	△ 1.62	△ 8,858	△ 2.32
東濃圏域	358,884	348,085	336,954	△ 10,799	△ 3.01	△ 11,131	△ 3.20
飛騨圏域	165,610	157,526	149,072	△ 8,084	△ 4.88	△ 8,454	△ 5.37

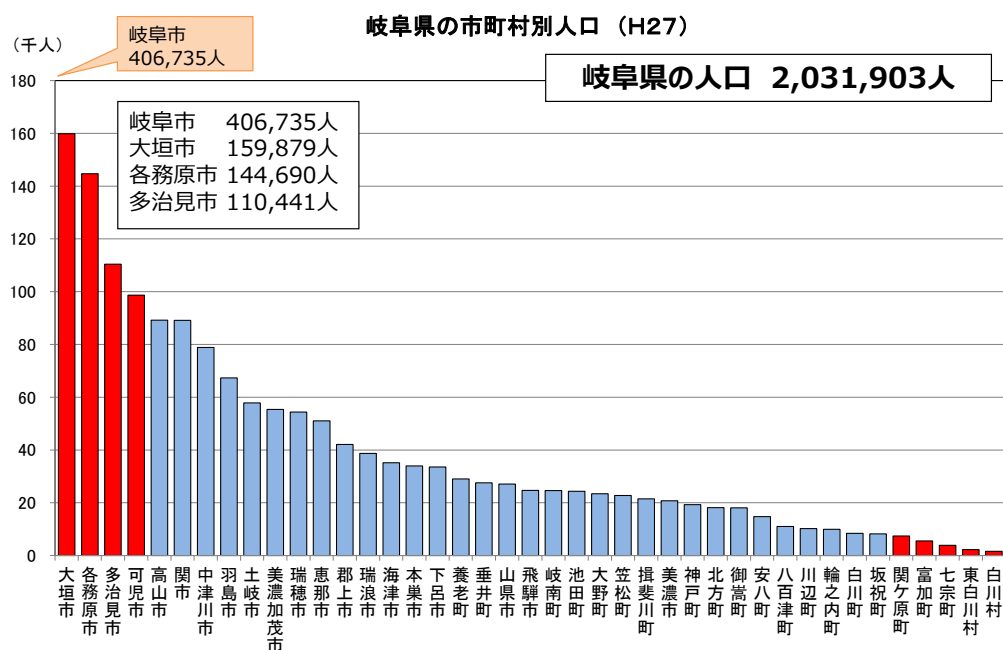
(2) 市町村別人口

○10万人以上は4市、5万人以上10万人未満は9市、5万人未満は29市町村

(29市町村で5万人未満)

平成27年10月1日現在の岐阜県の人口を市町村別にみると、岐阜市が40万6735人と最も多く、県人口の2割を占めている。そのほか、大垣市、各務原市、多治見市の3市が10万人を上回っており、岐阜市を含めたこの4市で県人口の4割を占めている。

人口が多い市町は南部に多い
岐阜市、大垣市、各務原市、多治見市の人口を合計すると、
県全体の人口の40%を占める



出典:総務省「平成27年国勢調査」

※ 岐阜市は人口が大きいため、グラフから除いている。

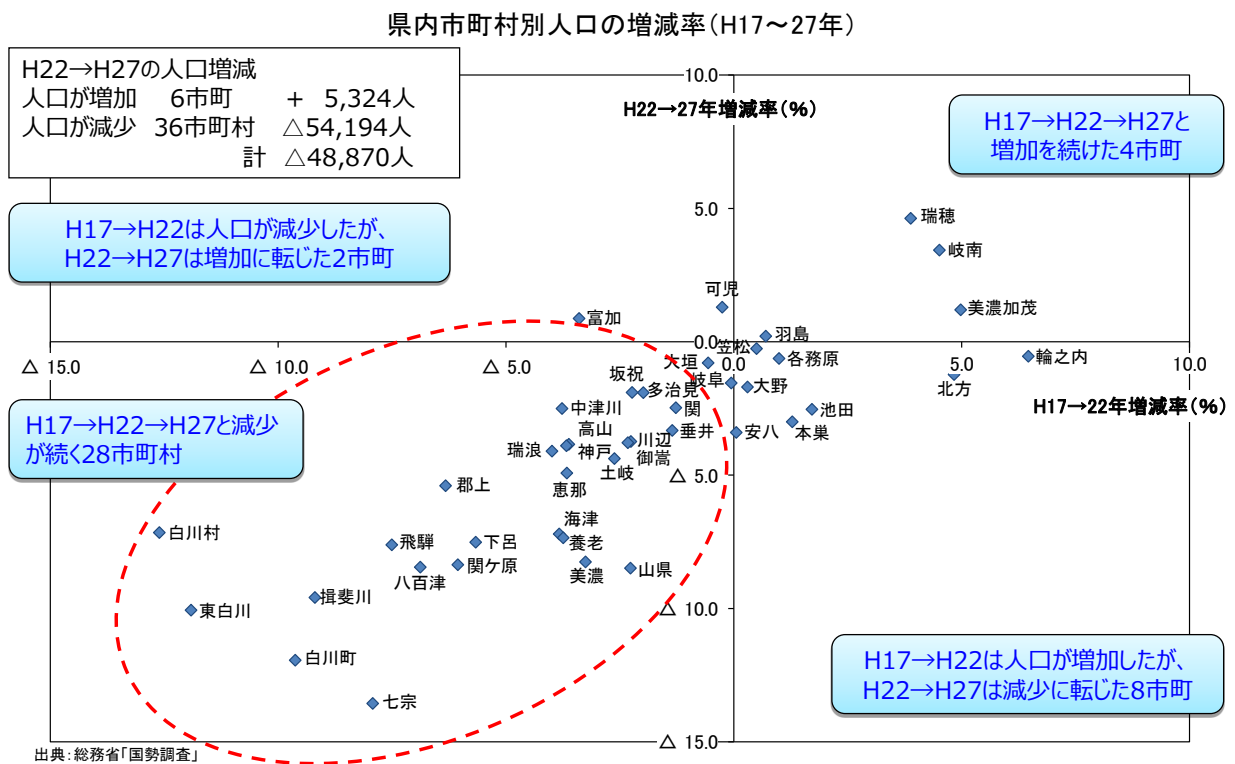
○平成 22 年以降で人口が増加したのは 6 市町（約 5 千人増加）
 人口が減少したのは 36 市町村（約 5 万 4 千人減少）

（人口減少の地域が増える一方、県南部では人口増加）

平成 22 年からの 5 年間の人口増減をみると、人口が増加したのは瑞穂市が 2404 人増、可児市が 1259 人増、岐南町 818 人増などの 6 市町となっている。一方、人口が減少したのは岐阜市が 6401 人減、高山市が 3565 人減、海津市 2735 人減などの 36 市町村となっている。

平成 17 年からの推移をみると、28 市町村では減少が続いており、山間部を中心に人口減少が進んでいる。また、輪之内町、北方町、池田町などの 8 市町が今回減少に転じた。一方、4 市町では増加が続いており、岐阜市・大垣市の郊外や、愛知県に隣接している地域などでは人口が増えている。

人口が減少する地域が多くを占める
 ～H22以降の5年間では、人口が減少したのは36市町村と8割を超える～



市町村別人口(H27)及び人口増減(H22～27年)

人口

人口増加数

人口増加率

順位	市町村	人口 (人)	順位	市町村	人口増加数 (人)	順位	市町村	人口増加率 (%)
1	岐阜市	406,735	1	瑞穂市	2,404	1	瑞穂市	4.63
2	大垣市	159,879	2	可児市	1,259	2	岐南町	3.44
3	各務原市	144,690	3	岐南町	818	3	可児市	1.29
4	多治見市	110,441	4	美濃加茂市	655	4	美濃加茂市	1.20
5	可児市	98,695	5	羽島市	140	5	富加町	0.87
6	高山市	89,182	6	富加町	48	6	羽島市	0.21
7	関市	89,153	7	輪之内町	△ 55	7	笠松町	△ 0.26
8	中津川市	78,883	8	笠松町	△ 59	8	輪之内町	△ 0.55
9	羽島市	67,337	9	白川村	△ 124	9	各務原市	△ 0.63
10	土岐市	57,827	10	坂祝町	△ 159	10	大垣市	△ 0.79
11	美濃加茂市	55,384	11	北方町	△ 226	11	北方町	△ 1.23
12	瑞穂市	54,354	12	東白川村	△ 253	12	岐阜市	△ 1.55
13	恵那市	51,073	13	川辺町	△ 396	13	大野町	△ 1.70
14	郡上市	42,090	14	大野町	△ 406	14	坂祝町	△ 1.90
15	瑞浪市	38,730	15	安八町	△ 519	15	多治見市	△ 1.91
16	海津市	35,206	16	七宗町	△ 608	16	関市	△ 2.48
17	本巣市	33,995	17	池田町	△ 633	17	中津川市	△ 2.51
18	下呂市	33,585	18	関ヶ原町	△ 677	18	池田町	△ 2.53
19	養老町	29,029	19	御嵩町	△ 713	19	本巣市	△ 3.00
20	垂井町	27,556	20	神戸町	△ 783	20	垂井町	△ 3.33
21	山県市	27,114	21	各務原市	△ 914	21	安八町	△ 3.40
22	飛騨市	24,696	22	垂井町	△ 949	22	川辺町	△ 3.74
23	岐南町	24,622	23	八百津町	△ 1,018	23	御嵩町	△ 3.79
24	池田町	24,347	24	本巣市	△ 1,052	24	高山市	△ 3.84
25	大野町	23,453	25	白川町	△ 1,138	25	神戸町	△ 3.90
26	笠松町	22,750	26	大垣市	△ 1,281	26	瑞浪市	△ 4.10
27	揖斐川町	21,503	27	瑞浪市	△ 1,657	27	土岐市	△ 4.38
28	美濃市	20,760	28	美濃市	△ 1,869	28	恵那市	△ 4.92
29	神戸町	19,282	29	中津川市	△ 2,027	29	郡上市	△ 5.40
30	北方町	18,169	30	飛騨市	△ 2,036	30	白川村	△ 7.16
31	御嵩町	18,111	31	多治見市	△ 2,154	31	海津市	△ 7.21
32	安八町	14,752	32	関市	△ 2,265	32	養老町	△ 7.35
33	八百津町	11,027	33	揖斐川町	△ 2,281	33	下呂市	△ 7.52
34	川辺町	10,197	34	養老町	△ 2,303	34	飛騨市	△ 7.62
35	輪之内町	9,973	35	郡上市	△ 2,401	35	美濃市	△ 8.26
36	白川町	8,392	36	山県市	△ 2,515	36	関ヶ原町	△ 8.36
37	坂祝町	8,202	37	恵那市	△ 2,645	37	八百津町	△ 8.45
38	関ヶ原町	7,419	38	土岐市	△ 2,648	38	山県市	△ 8.49
39	富加町	5,564	39	下呂市	△ 2,729	39	揖斐川町	△ 9.59
40	七宗町	3,876	40	海津市	△ 2,735	40	東白川村	△ 10.06
41	東白川村	2,261	41	高山市	△ 3,565	41	白川町	△ 11.94
42	白川村	1,609	42	岐阜市	△ 6,401	42	七宗町	△ 13.56

(3) 人口密度

○人口密度は県南部で高い。

市町村別に人口密度をみると、最も高いのは北方町で 3507.5 人/㎢、次いで岐南町 3112.8 人/㎢、笠松町 2208.7 人/㎢となっており、県の南部で高くなっている。

一方、人口密度が最も低いのは白川村 4.5 人/㎢、次いで東白川村 26.0 人/㎢、揖斐川町 26.8 人/㎢であり、山間部で人口密度が低くなっている。

平成 22 年と比べ岐南町、笠松町、瑞穂市など人口密度が高い地域では増加しているが、その他の市町村では減少しており、人口密度の市町村格差は拡大している。

市町村別人口密度

順位	市町村名	人口		人口増減率(%)	人口密度(1㎢当たり)		人口密度の増減
		平成22年	平成27年	平成22～27年	平成22年	平成27年	平成22～27年
1	北方町	18,395	18,169	△ 1.23	3,558.0	3,507.5	△ 50.5
2	岐南町	23,804	24,622	3.44	3,013.2	3,112.8	99.6
3	笠松町	22,809	22,750	△ 0.26	2,201.6	2,208.7	7.1
4	岐阜市	413,136	406,735	△ 1.55	2,036.3	1,997.7	△ 38.6
5	瑞穂市	51,950	54,354	4.63	1,842.9	1,928.1	85.2
6	各務原市	145,604	144,690	△ 0.63	1,658.9	1,647.8	△ 11.1
7	羽島市	67,197	67,337	0.21	1,252.7	1,254.9	2.2
8	多治見市	112,595	110,441	△ 1.91	1,234.1	1,210.3	△ 23.8
9	可児市	97,436	98,695	1.29	1,112.3	1,127.0	14.7
10	神戸町	20,065	19,282	△ 3.90	1,069.0	1,026.7	△ 42.3
11	安八町	15,271	14,752	△ 3.40	840.0	812.3	△ 27.7
12	大垣市	161,160	159,879	△ 0.79	780.4	774.0	△ 6.4
13	美濃加茂市	54,729	55,384	1.20	731.6	740.3	8.7
14	大野町	23,859	23,453	△ 1.70	698.0	685.8	△ 12.2
15	坂祝町	8,361	8,202	△ 1.90	648.6	637.3	△ 11.3
16	池田町	24,980	24,347	△ 2.53	644.0	627.5	△ 16.5
17	土岐市	60,475	57,827	△ 4.38	521.3	498.4	△ 22.9
18	垂井町	28,505	27,556	△ 3.33	498.9	482.7	△ 16.2
19	輪之内町	10,028	9,973	△ 0.55	448.5	446.6	△ 1.9
20	養老町	31,332	29,029	△ 7.35	434.3	401.6	△ 32.7
21	富加町	5,516	5,564	0.87	327.9	330.8	2.9
22	御嵩町	18,824	18,111	△ 3.79	332.5	319.5	△ 13.0
23	海津市	37,941	35,206	△ 7.21	337.8	314.3	△ 23.5
24	川辺町	10,593	10,197	△ 3.74	257.2	247.7	△ 9.5
25	瑞浪市	40,387	38,730	△ 4.10	230.8	221.5	△ 9.3
26	関市	91,418	89,153	△ 2.48	193.3	188.8	△ 4.5
27	美濃市	22,629	20,760	△ 8.26	193.3	177.4	△ 15.9
28	関ヶ原町	8,096	7,419	△ 8.36	164.3	150.5	△ 13.8
29	山県市	29,629	27,114	△ 8.49	133.4	122.1	△ 11.3
30	中津川市	80,910	78,883	△ 2.51	119.6	116.6	△ 3.0
31	恵那市	53,718	51,073	△ 4.92	106.5	101.3	△ 5.2
32	本巣市	35,047	33,995	△ 3.00	93.6	90.7	△ 2.9
33	八百津町	12,045	11,027	△ 8.45	93.5	85.6	△ 7.9
34	七宗町	4,484	3,876	△ 13.56	49.6	42.8	△ 6.8
35	高山市	92,747	89,182	△ 3.84	42.6	41.0	△ 1.6
36	郡上市	44,491	42,090	△ 5.40	43.2	40.8	△ 2.4
37	下呂市	36,314	33,585	△ 7.52	42.7	39.5	△ 3.2
38	白川町	9,530	8,392	△ 11.94	40.1	35.3	△ 4.8
39	飛騨市	26,732	24,696	△ 7.62	33.7	31.2	△ 2.5
40	揖斐川町	23,784	21,503	△ 9.59	29.6	26.8	△ 2.8
41	東白川村	2,514	2,261	△ 10.06	28.9	26.0	△ 2.9
42	白川村	1,733	1,609	△ 7.16	4.9	4.5	△ 0.4
	岐阜県	2,080,773	2,031,903	△ 2.35	195.9	191.3	△ 4.6

(4) 人口集中地区 (D I D)

○県人口の約4割が、県土の2%に満たないD I Dに集中している。

(人口集中地区は20市町、31地区となった)

人口集中地区は、市部・郡部別地域表章が、町村合併や新市の創設等に伴い、必ずしも都市的地域と農村的地域の特質を示さなくなったという事情により、市町村という行政地域の境域とは別に、実質的な都市地域を示すものとして画定された。総務省統計局が、昭和35年以降国勢調査ごとに設定している。

平成27年には、県下の20市町において31地区の人口集中地区が設定されており、地区数は、平成2年の43地区をピークに減少している。

人口集中地区における人口は77万6363人(総人口に占める割合38.2%)、面積は174.8km²(総面積の1.6%)となっており、県人口の約40%が県土の2%に満たない地域に集中している。

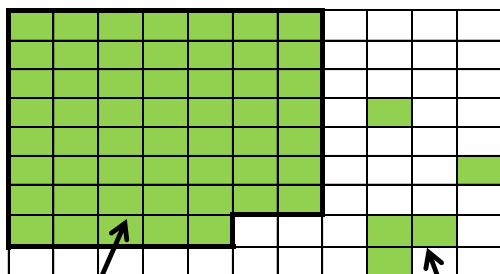
人口集中地区の人口及び人口集中地区以外の地域の人口 (H27)

	人口(人)	面積(km ²)	人口密度(1km ² 当たり)	人口総数に占める割合(%)	総面積に占める割合(%)
岐阜県	2,031,903	10,621.3	191.3	100.0	100.0
人口集中地区(DID)	776,363	174.8	4,442.7	38.2	1.6
人口集中地区以外の地域	1,255,540	10,446.5	120.2	61.8	98.4

<人口集中地区とは>

「人口集中地区」とは、市区町村の境域内において、人口密度の高い基本単位区(原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上)が隣接し、かつ、その隣接した基本単位区内の人口が5,000人以上となる地域

基本単位区
 基本単位区のうち、人口密度が4,000人/km²以上のもの



隣接した地域の人口が5,000人以上となる地域を、「人口集中地区」という。

人口密度の基準は満たしても、隣接した地域の人口が5,000人未満の場合、人口集中地区とはならない。

○人口集中地区、人口集中地区以外の地域ともに人口が減少

平成 22 年からの人口増減をみると、人口集中地区では、3 万 2044 人減少している。人口集中地区の人口は、平成 12 年以降減少が続いており、今回も引き続き減少した。一方、人口集中地区以外の地域の人口は平成 7 年以降増加し続けていたが、平成 22 年に減少に転じ、平成 27 年は平成 22 年に比べ 1 万 6826 人減少した。

地区別にみると、人口集中地区、人口集中地区以外の地域でともに人口が減少しているのは、岐阜市、高山市、多治見市などの 11 市町である。一方で、人口集中地区の人口は減少しているものの、人口集中地区以外の地域で人口が増加しているのは、美濃加茂市、各務原市、可児市、北方町である。また、瑞穂市、岐南町では、人口集中地区及び人口集中地区以外の地域でともに人口が増加している。

人口集中地区の人口及び人口集中地区以外の地域の人口

市町村	人口集中地区数		人口集中地区(DID)					人口集中地区以外の地域			
			人口(人)		人口増減率(%)	人口密度(1km ² 当たり)	人口総数に占める割合(%)	人口(人)		人口増減率(%)	人口密度(1km ² 当たり)
	H22	H27	H22	H27	H22→H27	H27	H27	H22	H27	H22→H27	H27
岐阜県	36	31	808,407	776,363	△ 4.0	4,442.7	38.2	1,272,366	1,255,540	△ 1.3	120.2
岐阜市	5	5	291,254	286,484	△ 1.6	5,210.7	70.4	121,882	120,251	△ 1.3	809.1
大垣市	1	1	92,961	93,199	0.3	4,342.9	58.3	68,199	66,680	△ 2.2	360.2
高山市	1	1	39,025	37,269	△ 4.5	4,550.5	41.8	53,722	51,913	△ 3.4	23.9
多治見市	3	3	60,837	59,813	△ 1.7	4,300.0	54.2	51,758	50,628	△ 2.2	654.6
関市	1	1	26,544	25,486	△ 4.0	4,463.4	28.6	64,874	63,667	△ 1.9	136.4
中津川市	1	1	8,000	7,353	△ 8.1	2,872.3	9.3	72,910	71,530	△ 1.9	106.1
美濃市	1	—	5,354	—	—	—	—	17,275	—	—	—
瑞浪市	1	1	7,741	7,473	△ 3.5	3,812.8	19.3	32,646	31,257	△ 4.3	180.8
羽島市	1	1	22,757	23,571	3.6	4,365.0	35.0	44,440	43,766	△ 1.5	906.9
恵那市	1	1	5,969	5,707	△ 4.4	3,479.9	11.2	47,749	45,366	△ 5.0	90.3
美濃加茂市	1	1	10,392	9,949	△ 4.3	3,617.8	18.0	44,337	45,435	2.5	630.5
土岐市	2	2	25,863	24,979	△ 3.4	3,348.4	43.2	34,612	32,848	△ 5.1	302.6
各務原市	4	3	90,913	84,998	△ 6.5	4,166.6	58.7	54,691	59,692	9.1	885.5
可児市	4	3	33,265	30,777	△ 7.5	4,164.7	31.2	64,171	67,918	5.8	847.1
瑞穂市	1	1	16,771	18,654	11.2	4,378.9	34.3	35,179	35,700	1.5	1,491.9
飛騨市	1	1	5,682	5,400	△ 5.0	4,000.0	21.9	21,050	19,296	△ 8.3	24.4
岐南町	1	1	11,594	11,960	3.2	4,317.7	48.6	12,210	12,662	3.7	2,463.4
笠松町	1	1	9,982	10,996	10.2	4,262.0	48.3	12,827	11,754	△ 8.4	1,522.5
垂井町	1	1	13,399	13,223	△ 1.3	3,046.8	48.0	15,106	14,333	△ 5.1	271.7
神戸町	1	1	6,710	6,380	△ 4.9	2,148.1	33.1	13,355	12,902	△ 3.4	816.1
大野町	1	—	5,231	—	—	—	—	18,628	—	—	—
池田町	1	—	5,240	—	—	—	—	19,740	—	—	—
北方町	1	1	12,923	12,692	△ 1.8	4,735.8	69.9	5,472	5,477	0.1	2,190.8

第2章 地域別にみた年齢別人口

(1) 市町村別年齢3区分人口

〇0～14歳の人口は、4市町で増加、38市町村で減少

〇15～64歳の人口は、42市町村すべてで減少

〇65歳以上の人口は、39市町村で増加、3町村で減少

(子どもと現役世代が減少し高齢者は増加、ただし3町村では高齢者が減少)

市町村別の年齢3区分別人口を平成22年と比べると、0～14歳人口が増加したのは瑞穂市、美濃加茂市など4市町で、38市町村で減少した。15～64歳人口は、42市町村すべてで減少した。

一方、65歳以上人口は、39市町村で増加したが、東白川村、七宗町、白川町の3町村で減少した。

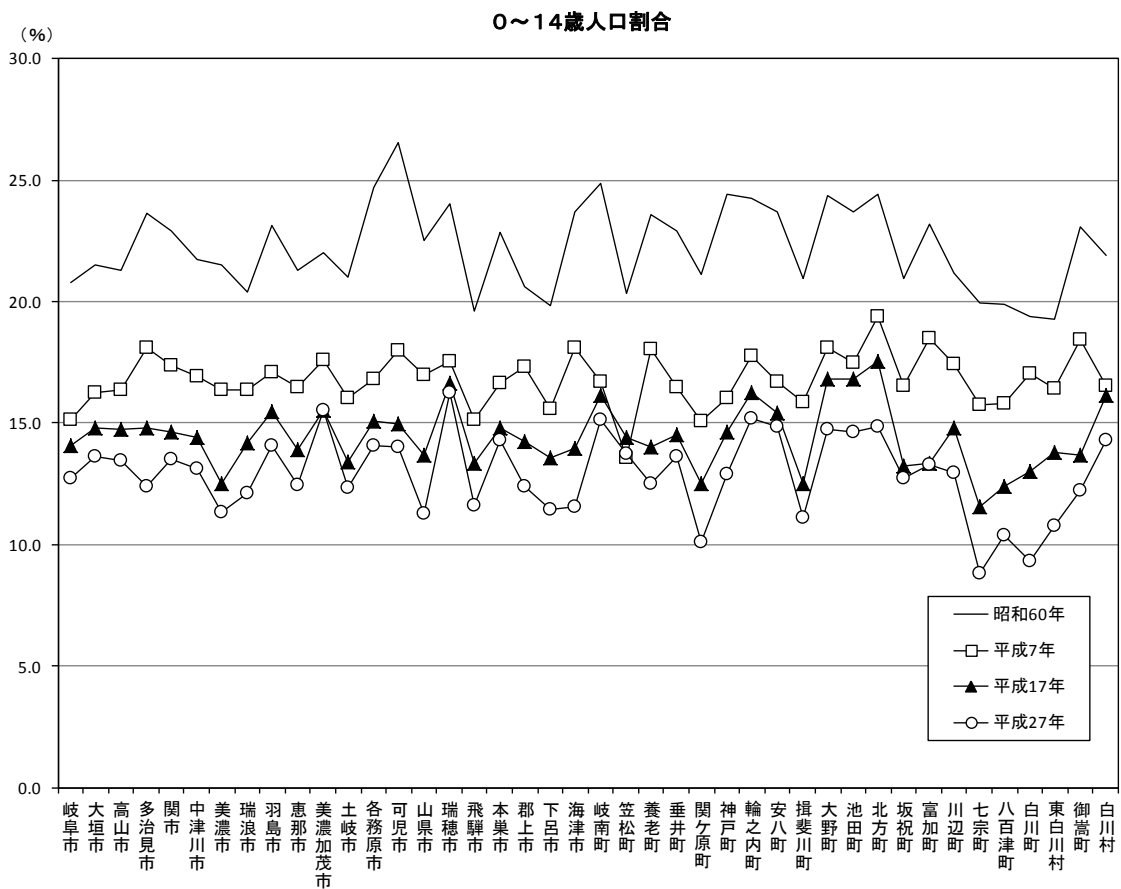
	0～14歳人口			15～64歳人口			65歳以上人口		
増加数が多い	順位	市町村名	人口増加数(人)	順位	市町村名	人口増加数(人)	順位	市町村名	人口増加数(人)
	1	瑞穂市	292	1	該当市町村なし		1	岐阜市	12,468
	2	美濃加茂市	43	2			2	各務原市	6,490
	3	富加町	17	3			3	多治見市	5,442
	4	岐南町	13	4			4	可児市	5,426
5			5			5	大垣市	4,817	
増加率が高い	順位	市町村名	人口増加率(%)	順位	市町村名	人口増加率(%)	順位	市町村名	人口増加率(%)
	1	瑞穂市	3.45	1	該当市町村なし		1	可児市	27.72
	2	富加町	2.36	2			2	坂祝町	26.41
	3	美濃加茂市	0.51	3			3	瑞穂市	25.38
	4	岐南町	0.35	4			4	多治見市	21.52
5			5			5	岐南町	21.26	
減少数が多い	順位	市町村名	人口減少数(人)	順位	市町村名	人口減少数(人)	順位	市町村名	人口減少数(人)
	1	岐阜市	△ 4,696	1	岐阜市	△ 17,277	1	東白川村	△ 55
	2	多治見市	△ 1,487	2	各務原市	△ 6,126	2	七宗町	△ 17
	3	高山市	△ 1,295	3	多治見市	△ 5,544	3	白川町	△ 9
	4	各務原市	△ 1,282	4	関市	△ 4,967	4		
5	大垣市	△ 1,177	5	大垣市	△ 4,965	5			
減少率が高い	順位	市町村名	人口減少率(%)	順位	市町村名	人口減少率(%)	順位	市町村名	人口減少率(%)
	1	白川町	△ 26.69	1	七宗町	△ 19.85	1	東白川村	△ 5.46
	2	七宗町	△ 25.71	2	白川町	△ 17.42	2	七宗町	△ 1.04
	3	山泉市	△ 18.88	3	揖斐川町	△ 16.49	3	白川町	△ 0.25
	4	八百津町	△ 17.73	4	関ヶ原町	△ 16.17	4		
5	東白川村	△ 17.01	5	山泉市	△ 14.96	5			

00~14 歳人口割合は、ほとんどの市町村で 15%を下回っている。

(0~14 歳人口割合は、この 30 年間で急速に低下)

0~14 歳人口の割合は、瑞穂市が 16.3%と最も高く、次いで美濃加茂市 15.5%、輪之内町 15.2%となっており、最も低いのは、七宗町の 8.8%、次いで白川町 9.3%、関ヶ原町 10.1%となっている。

昭和 60 年からの推移をみると、0~14 歳人口の割合は、昭和 60 年は多くの市町村で 20%以上であったが、平成 17 年までの 20 年間で大きく低下し、近年は低下傾向が鈍化しているものの、ほとんどの市町村で 15%を下回っている。



出典:総務省「国勢調査」

0~14歳人口の割合 (H27)

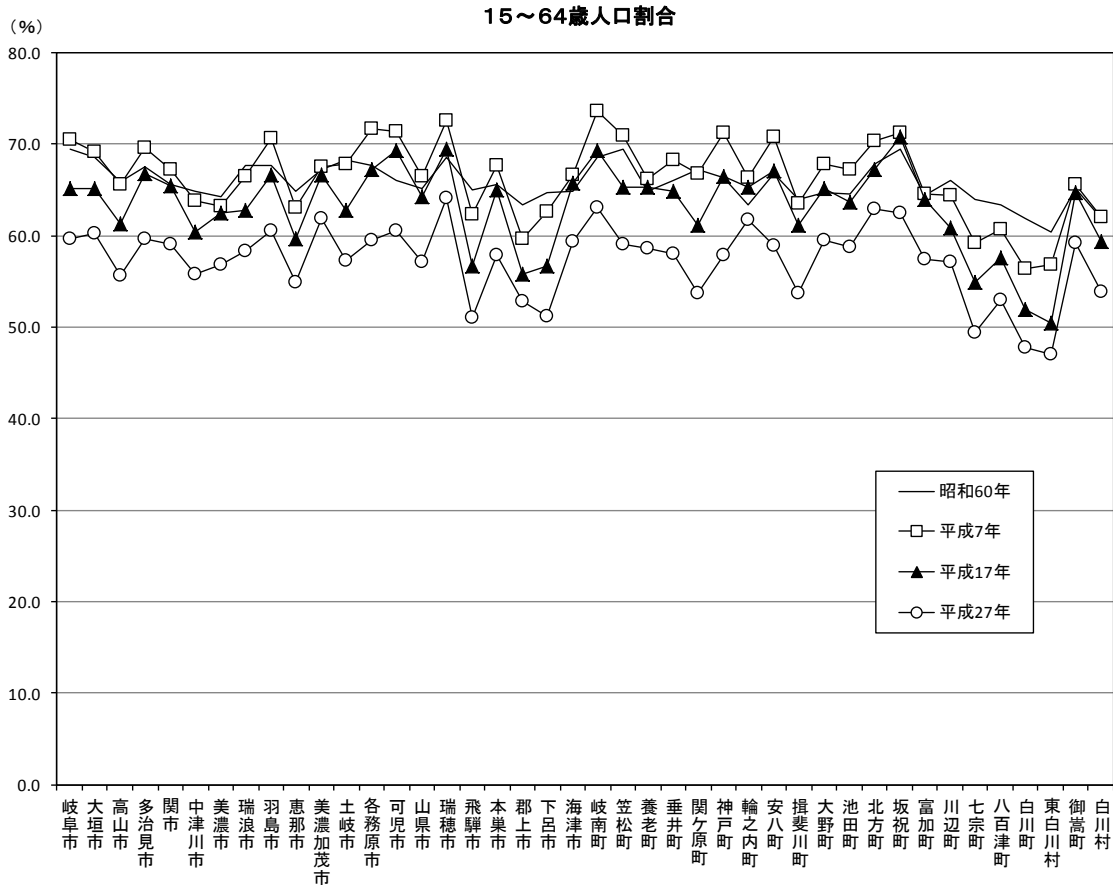
低い順		%	高い順		%
1	七宗町	8.8	1	瑞穂市	16.3
2	白川町	9.3	2	美濃加茂市	15.5
3	関ヶ原町	10.1	3	輪之内町	15.2
4	八百津町	10.4	4	岐南町	15.1
5	東白川村	10.8	5	安八町	14.9
6	揖斐川町	11.1	6	北方町	14.8
7	山県市	11.3	7	大野町	14.7
8	美濃市	11.3	8	池田町	14.6
9	下呂市	11.4	9	白川村	14.3
10	海津市	11.5	10	本巣市	14.3

○15～64 歳人口の割合は、すべての市町村で低下

(現役世代の割合はすべての市町村で低下)

15～64 歳人口の割合は、瑞穂市が 64.1%と最も高く、次いで岐南町 63.1%、北方町 63.0%であり、最も低いのは、東白川村の 47.1%、次いで白川町 47.7%、七宗町 49.4%となっている。

昭和 60 年からの推移をみると、平成 7 年までは半数を超える市町村で上昇したが、以降はすべての市町村で低下している。



出典：総務省「国勢調査」

15～64歳人口の割合 (H27)

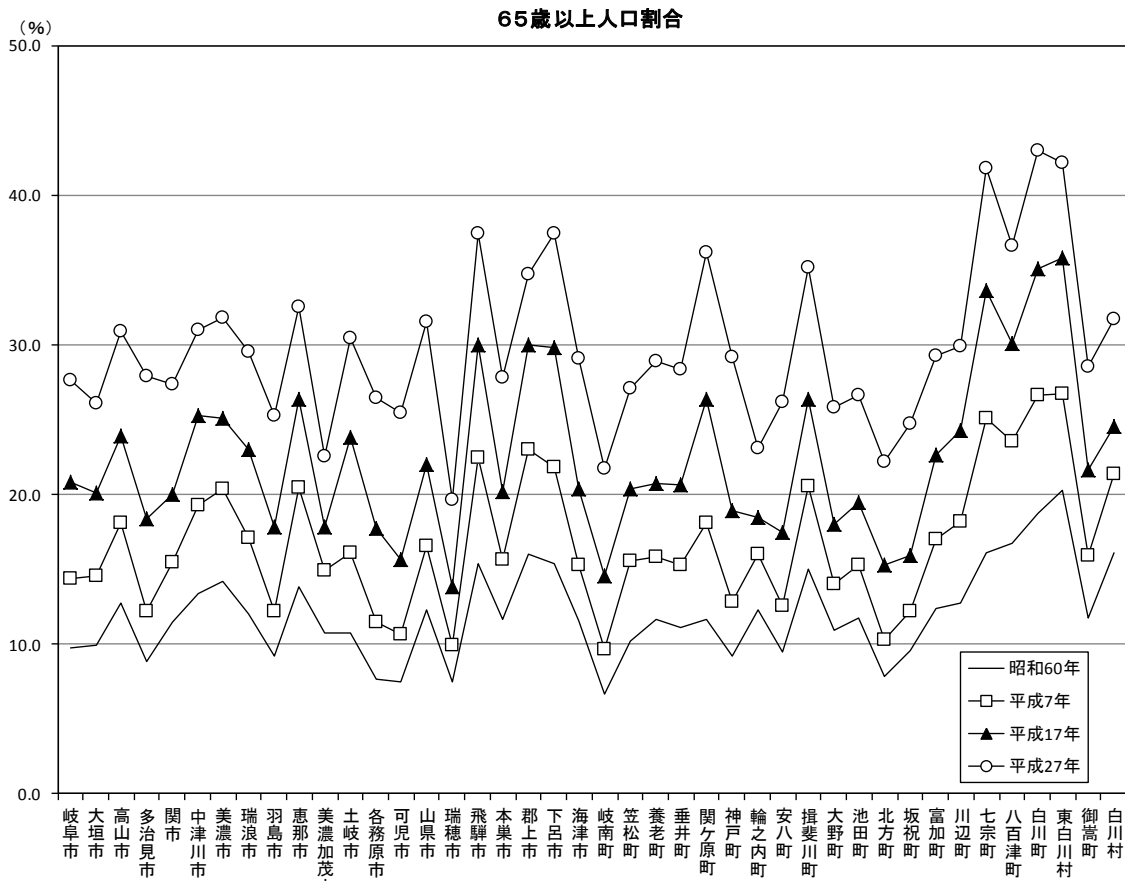
低い順			高い順		
		%			%
1	東白川村	47.1	1	瑞穂市	64.1
2	白川町	47.7	2	岐南町	63.1
3	七宗町	49.4	3	北方町	63.0
4	飛騨市	51.0	4	坂祝町	62.5
5	下呂市	51.1	5	美濃加茂市	62.0
6	郡上市	52.9	6	輪之内町	61.7
7	八百津町	53.0	7	羽島市	60.6
8	揖斐川町	53.7	8	可児市	60.5
9	関ヶ原町	53.8	9	大垣市	60.3
10	白川村	53.9	10	多治見市	59.7

○すべての市町村で 65 歳以上人口の割合が上昇

(山間部以外の地域でも高齢化は進行)

65 歳以上人口の割合は、白川町が 43.0%と最も高く、次いで東白川村 42.1%、七宗町 41.8%であり、最も低いのは、瑞穂市の 19.6%、次いで岐南町 21.7%、北方町 22.2%である。

高齢化率が 30%を超えているのは 16 市町村で、山間部を中心に一段と高齢化が進んでいる。また、最も高齢化率が低い瑞穂市でも、昭和 60 年の 7.4%と比べると、高齢者の割合は 2.6 倍に上昇しており、山間部以外の地域でも高齢化は進行している。



65歳以上人口の割合 (H27)

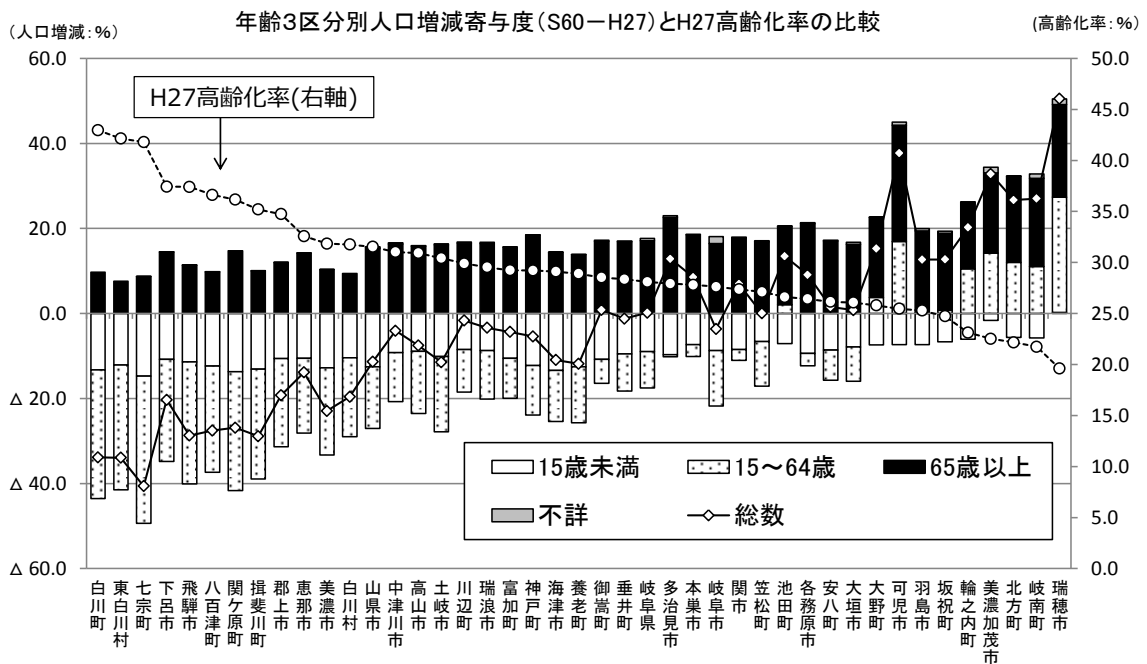
低い順			高い順		
		%			%
1	瑞穂市	19.6	1	白川町	43.0
2	岐南町	21.7	2	東白川村	42.1
3	北方町	22.2	3	七宗町	41.8
4	美濃加茂市	22.5	4	下呂市	37.4
5	輪之内町	23.1	5	飛騨市	37.4
6	坂祝町	24.7	6	八百津町	36.6
7	羽島市	25.3	7	関ヶ原町	36.2
8	可児市	25.5	8	揖斐川町	35.2
9	大野町	25.8	9	郡上市	34.7
10	大垣市	26.1	10	恵那市	32.6

○人口減少と高齢化

(人口が減少した地域では高齢化が顕著)

昭和60年から平成27年の30年間の市町村人口の変化をみるために、年齢3区分別の人口増減寄与度を算出した。30年間で人口が減少した市町村は24市町村、増加した市町村は18市町村であるが、増減にかかわらず、65歳以上人口はすべての市町村で増加に寄与している。人口が減少した市町村は、15～64歳人口のマイナス寄与が大きい傾向があり、65歳以上人口の割合である高齢化率が高い傾向がある。

人口の減少率が高い市町村ほど、高齢化率が高い傾向



(出典)総務省「国勢調査」

(注)昭和60年と平成27年の人口の年齢3区分別増減寄与度を算出し、平成27年の高齢化率が高い順に並べた。

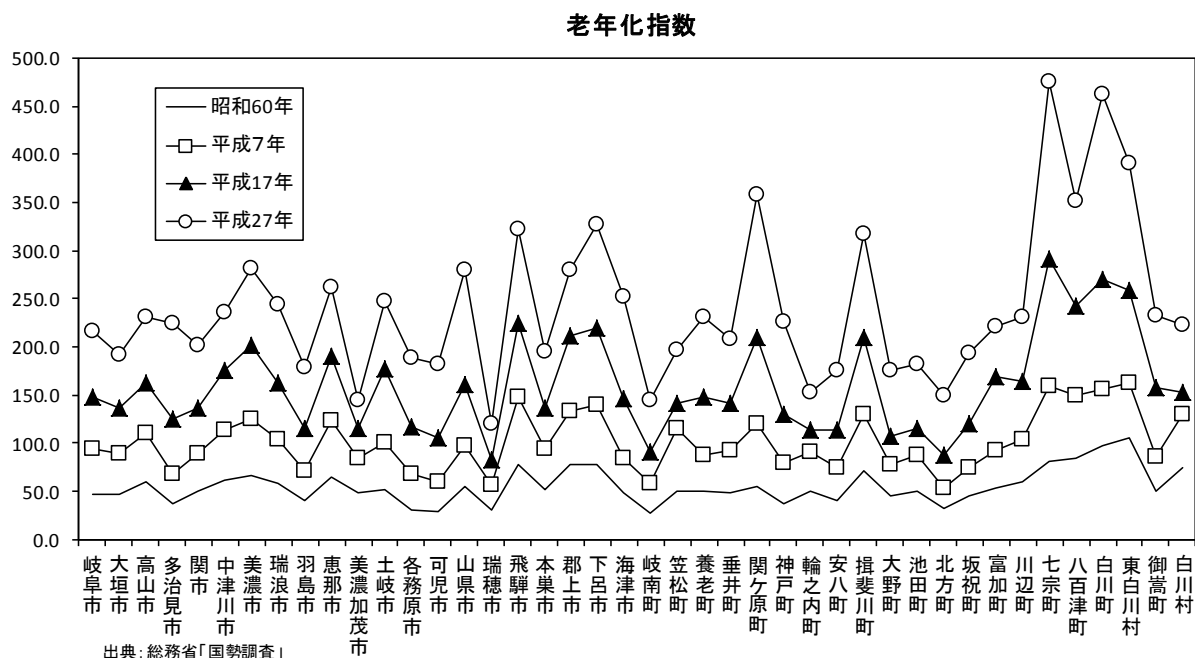
(2) 市町村別の人口指数

○老年化指数は、すべての市町村で上昇

(42市町村すべてで、高齢者1人に対する子どもの数が1人に満たない)

老年化指数(0~14歳人口100人に対する65歳以上人口の比:65歳以上人口/0~14歳人口×100)をみると、0~14歳の子ども100人に対する65歳以上の高齢者の数は、七宗町が475.1と最も高く、次いで白川町462.3、東白川村390.6となっており、最も低いのは、瑞穂市の120.6、次いで岐南町143.7、美濃加茂市145.1となっている。

老年化指数の推移をみると、昭和60年から平成27年の間に、すべての市町村で上昇している。昭和60年には、東白川村を除く市町村で100を下回っていた(0~14歳人口>65歳以上人口)が、平成27年現在、すべての市町村で100を上回っている(0~14歳人口<65歳以上人口)。



老年化指数 (H27)

高い順			低い順		
1	七宗町	475.1	1	瑞穂市	120.6
2	白川町	462.3	2	岐南町	143.7
3	東白川村	390.6	3	美濃加茂市	145.1
4	関ヶ原町	358.1	4	北方町	149.4
5	八百津町	352.2	5	輪之内町	152.2
6	下呂市	327.9	6	大野町	175.1
7	飛騨市	322.3	7	安八町	175.8
8	揖斐川町	316.6	8	羽島市	179.4
9	美濃市	281.2	9	池田町	181.7
10	郡上市	279.9	10	可児市	181.7

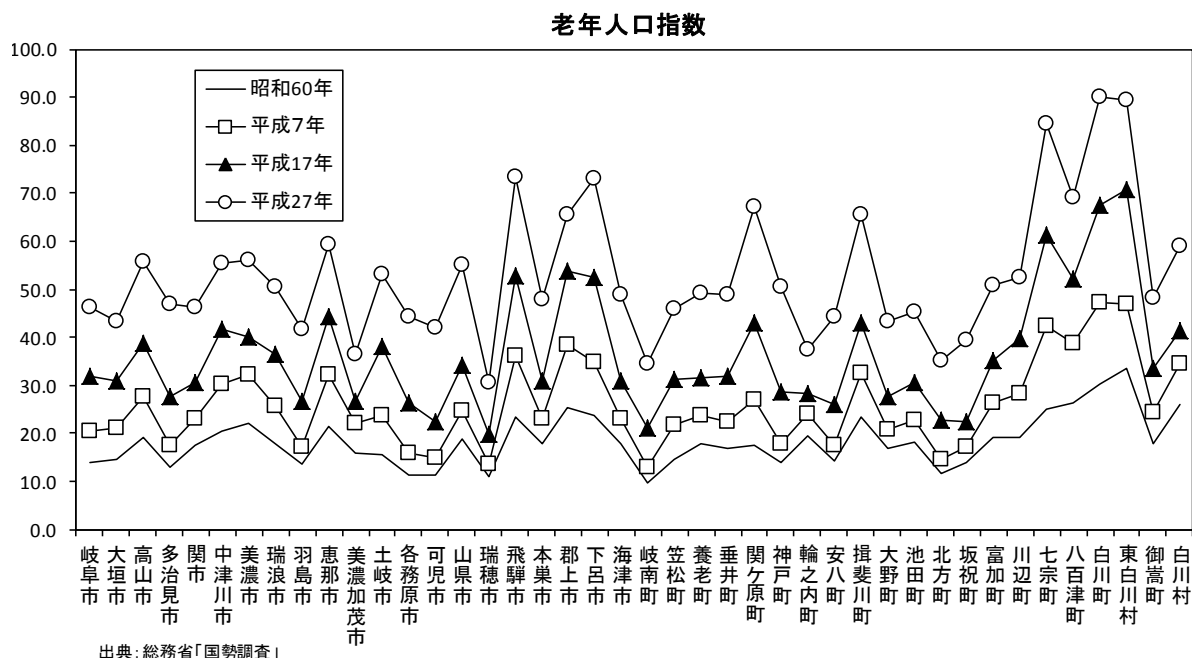
○老年人口指数は、すべての市町村で上昇

(20市町村で、高齢者1人を支える現役世代の数が2人に満たない)

老年人口指数(15~64歳人口100人に対する65歳以上人口の比:65歳以上人口/15~64歳人口×100)をみると、15~64歳の現役世代100人に対する65歳以上の高齢者の数は、白川町が90.0と最も高く、次いで東白川村89.6、七宗町84.6となっており、最も低いのは、瑞穂市の30.6、次いで岐南町34.4、北方町35.2となっている。

また、高齢者1人を支える現役世代の数が2人に満たない状況を示す、老年人口指数が50.0を上回っているのは20市町村である。

老年人口指数の推移をみると、昭和60年から平成27年の間に、すべての市町村で上昇しており、現在はすべての市町村で30.0を上回っている。



老年人口指数 (H27)

高い順			低い順		
1	白川町	90.0	1	瑞穂市	30.6
2	東白川村	89.6	2	岐南町	34.4
3	七宗町	84.6	3	北方町	35.2
4	飛騨市	73.4	4	美濃加茂市	36.4
5	下呂市	73.2	5	輪之内町	37.5
6	八百津町	69.1	6	坂祝町	39.6
7	関ヶ原町	67.3	7	羽島市	41.7
8	郡上市	65.7	8	可児市	42.1
9	揖斐川町	65.5	9	大垣市	43.2
10	恵那市	59.3	10	大野町	43.4

第3章 地域別世帯の状況

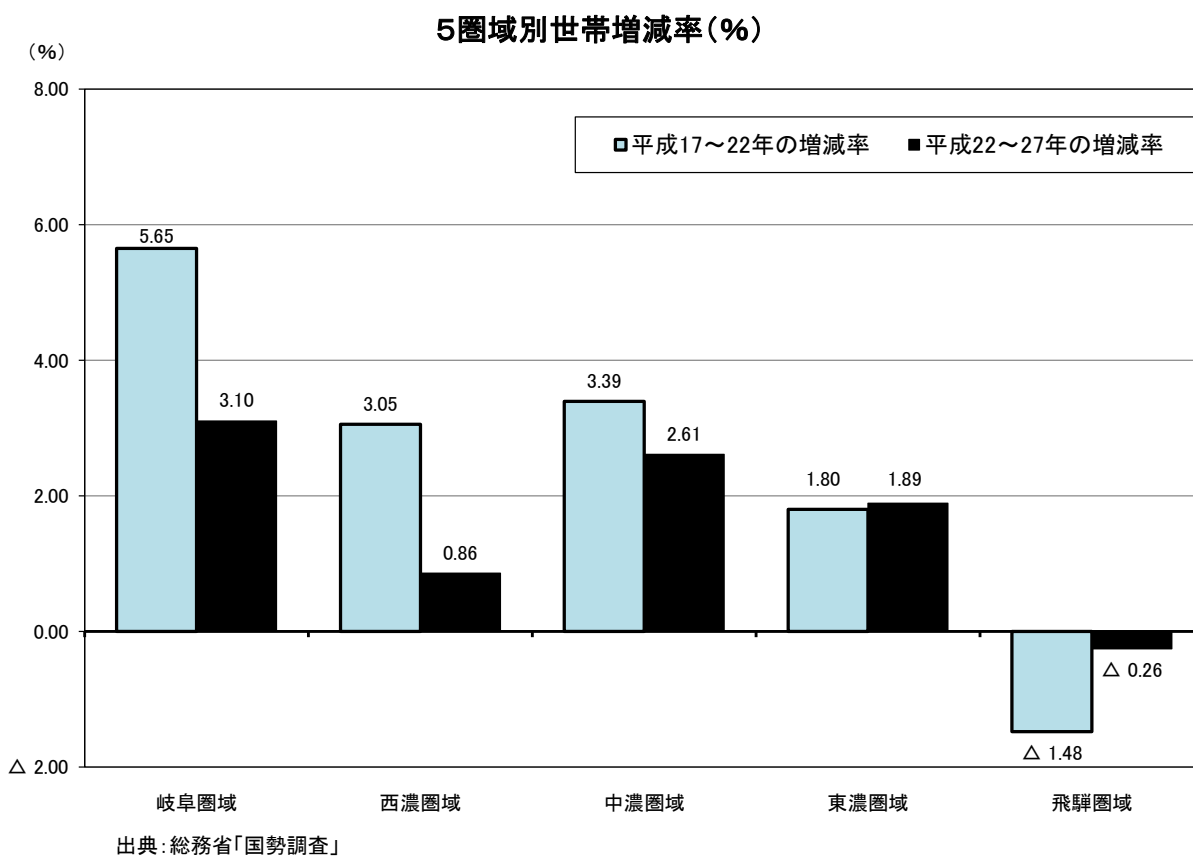
(1) 5圏域別の一般世帯数

○一般世帯数は飛騨圏域で減少、4圏域で増加

(飛騨圏域は人口、一般世帯数ともに減少)

平成27年10月1日現在の岐阜県の一般世帯数を5圏域別にみると、岐阜圏域が30万9226世帯(県の一般世帯に占める割合41.1%)と最も多く、次いで中濃圏域が13万6452世帯(同18.2%)、西濃圏域12万9682世帯(同17.3%)、東濃圏域12万2657世帯(同16.3%)となっており、世帯が最も少ない飛騨圏域は5万3709人(同7.1%)となっている。

平成22年からの世帯増減をみると、岐阜圏域で9309世帯増、西濃圏域で1105世帯増、中濃圏域で3473世帯増、東濃圏域で2275世帯増となっているものの、飛騨圏域は138世帯減となった。



5圏域別世帯の増減

	平成17年 (世帯)	平成22年 (世帯)	平成27年 (世帯)	平成17～22年の増減		平成22～27年の増減	
				増減数 (世帯)	増減率 (%)	増減数 (世帯)	増減率 (%)
県計	710,166	735,702	751,726	25,536	3.60	16,024	2.18
岐阜圏域	283,878	299,917	309,226	16,039	5.65	9,309	3.10
西濃圏域	124,766	128,577	129,682	3,811	3.05	1,105	0.86
中濃圏域	128,614	132,979	136,452	4,365	3.39	3,473	2.61
東濃圏域	118,253	120,382	122,657	2,129	1.80	2,275	1.89
飛騨圏域	54,655	53,847	53,709	△ 808	△ 1.48	△ 138	△ 0.26

(2) 市町村別にみた5年間の世帯増減

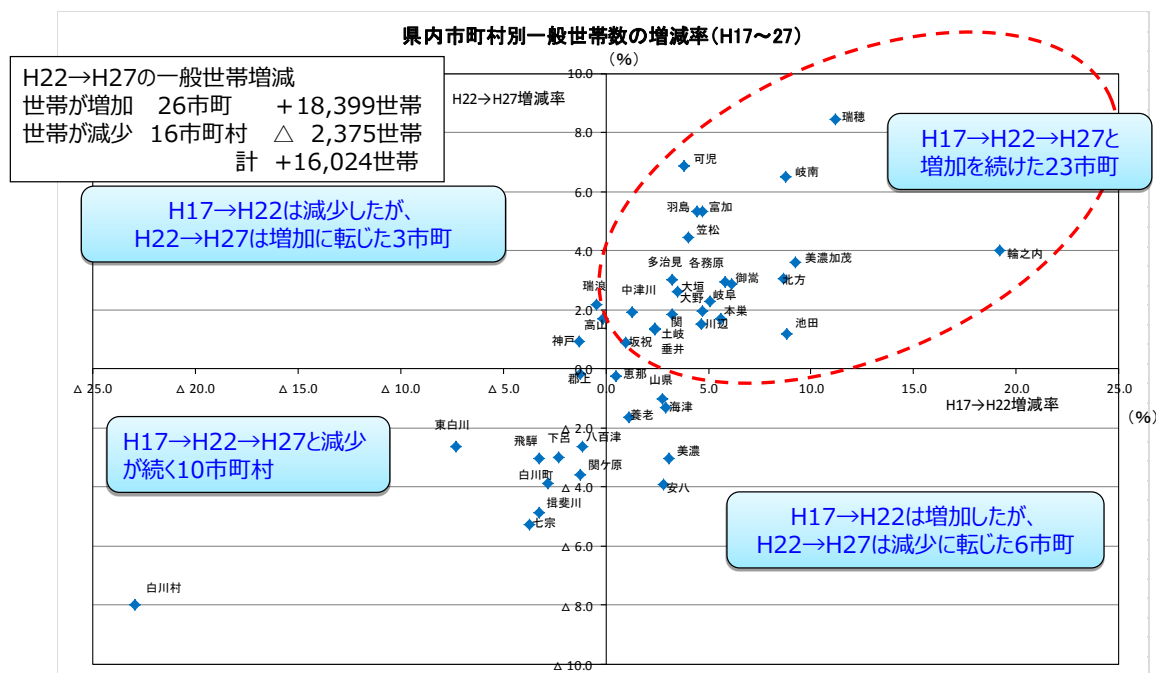
○平成22年以降の5年間で世帯が増加したのは26市町（約1万8千世帯増加）
世帯が減少したのは16市町村（約2千世帯減少）

（人口が減少する一方で、世帯は増加している市町村が多い）

平成27年10月1日現在の一般世帯数を市町村別にみると、平成22年から増加したのは26市町で、平成17年から平成22年の29市町より減少した。一方、平成22年と比べ減少したのは16市町村で、前回の13市町村より増加した。

平成17年から平成27年の増減をみると、平成17年から平成27年まで増加を続けているのは23市町であり、人口が減少する一方で世帯は増加している地域が多い。また、平成27年に減少に転じたのは6市町、平成12年から減少が続いているのは10市町村となっており、人口減少の進行が早い地域では世帯数も減少している。

**人口が減る一方、県と同じく世帯が増加する地域が多い。
人口減少が進んでいる地域では世帯数も減少に転じている。**



一般世帯数の増加が大きい市町村（H27）

順位	増加数		増加率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	岐阜市	3,700	瑞穂市	8.4
2	可児市	2,392	可児市	6.9
3	瑞穂市	1,633	岐南町	6.5
4	各務原市	1,532	富加町	5.4
5	大垣市	1,528	羽島市	5.3

一般世帯数の減少が大きい市町村（H27）

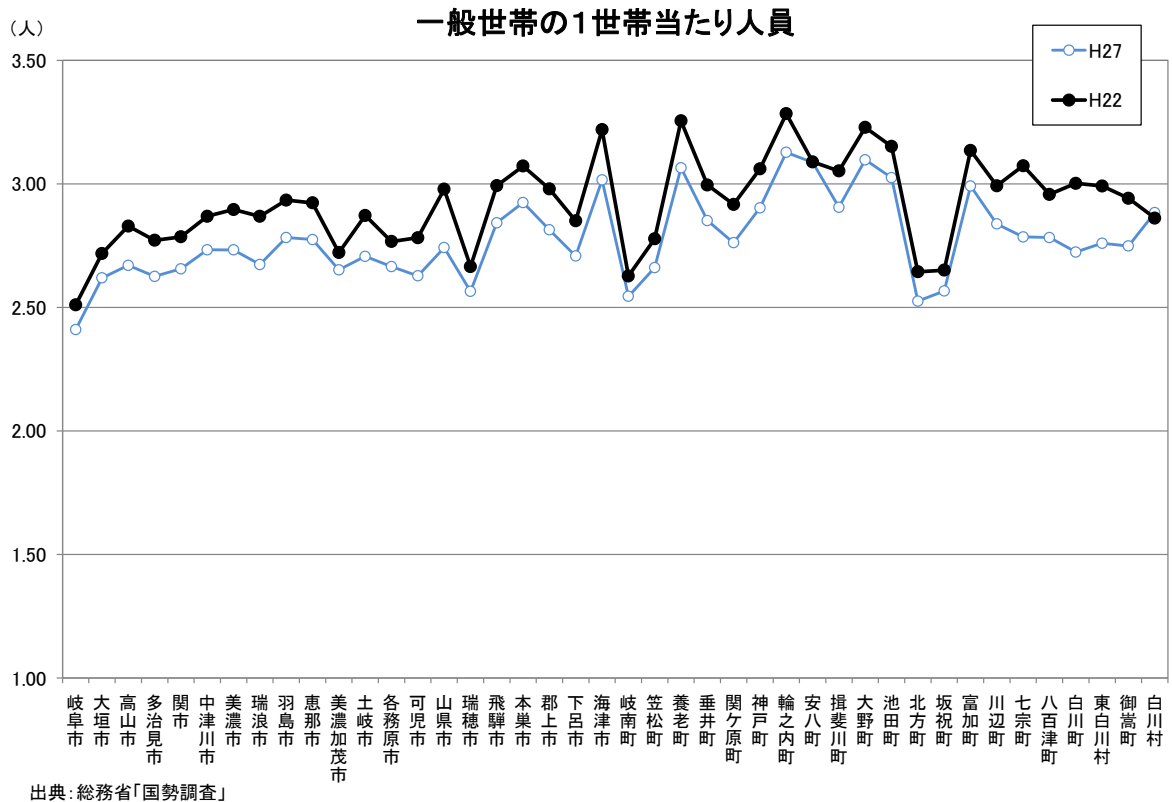
順位	減少数		減少率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	下呂市	△373	白川村	△8.0
2	揖斐川町	△370	七宗町	△5.3
3	飛騨市	△265	揖斐川町	△4.9
4	美濃市	△234	安八町	△3.9
5	安八町	△191	白川町	△3.9

○1世帯当たり人員は、ほとんどの市町村で減少

(1世帯当たり人員が3人に満たない地域が増加)

一般世帯の1世帯当たり人員が3人を上回る地域は6市町で、平成22年の12市町に比べ、6市町減少しており、1世帯当たり人員が3人に満たない地域が多くなっている。

1世帯当たり人員が最も多いのは輪之内町の3.13人で、一方、最も少ないのは岐阜市の2.41人である。1世帯当たり人員は平成22年と比べ41市町村で減少しており、ほとんどの地域で小家族化が進行している。



1世帯当たり人員 (H27)

順位	多い順		少ない順	
	市町村名	人	市町村名	人
1	輪之内町	3.13	岐阜市	2.41
2	大野町	3.10	北方町	2.53
3	安八町	3.09	岐南町	2.54
4	養老町	3.07	瑞穂市	2.56
5	池田町	3.03	坂祝町	2.57

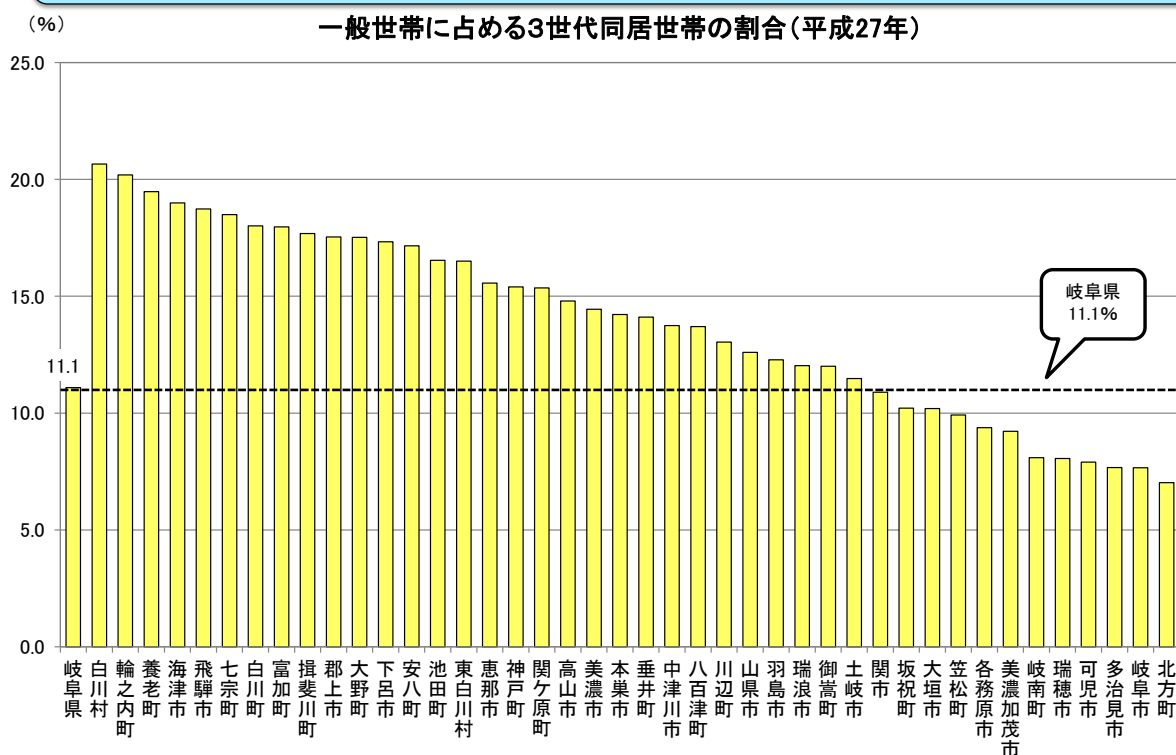
(3) 家族類型別の世帯数

○3 世代世帯はすべての市町村で減少

(3 世代世帯はほとんどの地域で 2 割に満たない)

一般世帯数を家族類型別にみると、3 世代世帯 8 万 3187 世帯は、平成 22 年から 1 万 7982 世帯減少し、すべての市町村で減少している。一般世帯に占める 3 世代世帯の割合は、白川村が 20.7%と最も高く、次いで輪之内町 20.2%、養老町 19.5%となり、最も低いのは、北方町が 7.0%、次いで岐阜市、多治見市が 7.7%となっており、岐阜市周辺や愛知県に近い県の南部では、3 世代世帯が少なくなっている。

3 世代同居世帯は岐阜・大垣等南部で少ない傾向



出典:総務省「国勢調査」

3世代世帯割合 (H27)

順位	割合が高い		割合が低い	
	市町村名	%	市町村名	%
1	白川村	20.7	北方町	7.0
2	輪之内町	20.2	岐阜市	7.7
3	養老町	19.5	多治見市	7.7
4	海津市	19.0	可児市	7.9
5	飛騨市	18.7	瑞穂市	8.1

3世代世帯の減少が大きい市町村 (H27)

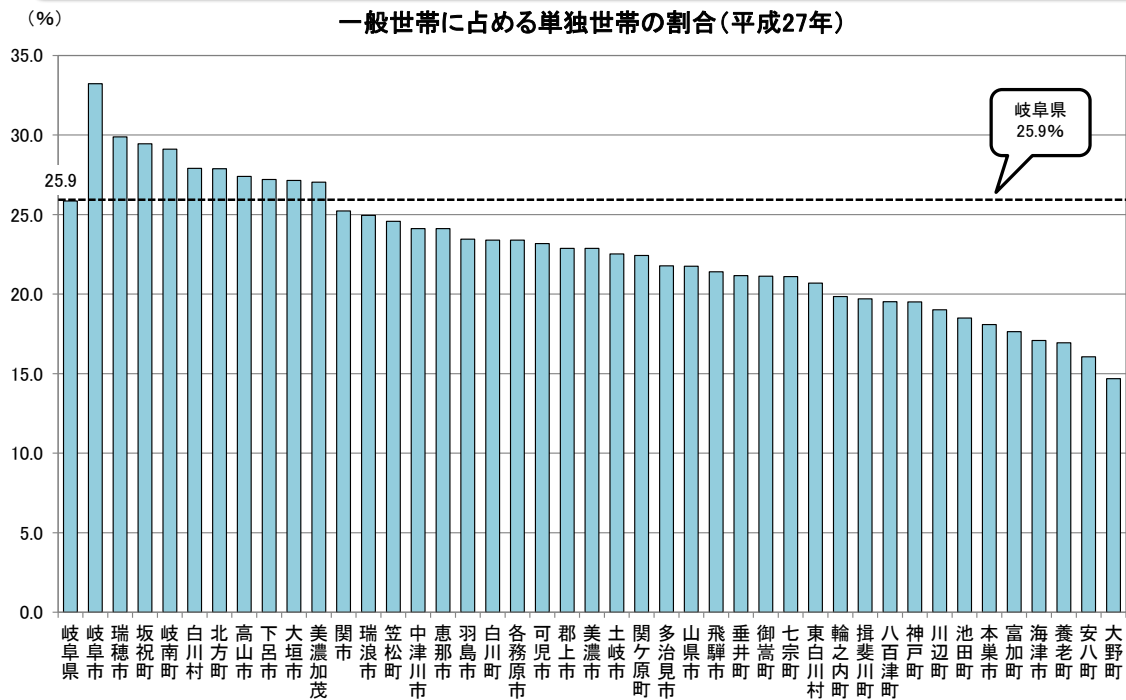
順位	減少数		減少率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	岐阜市	△2,342	東白川村	△27.2
2	大垣市	△1,367	七宗町	△27.1
3	高山市	△1,046	山県市	△26.8
4	多治見市	△857	白川町	△25.6
5	中津川市	△824	瑞浪市	△25.2

○単独世帯（一人暮らし）は39市町村で増加、3市町村で減少

（単独世帯は41市町村で15%を超える）

単独世帯19万3972世帯は平成22年から2万253世帯増加しており、39市町村で増加、3市町村で減少している。一般世帯に占める単独世帯の割合は岐阜市が33.2%と最も高く、次いで瑞穂市29.9%、坂祝町29.4%となっており、最も低いのは、大野町が14.7%、次いで安八町16.1%、養老町16.9%となっている。

単独世帯は岐阜・大垣等の南部で多い傾向



単独世帯割合（H27）

順位	割合が高い		割合が低い	
	市町村名	%	市町村名	%
1	岐阜市	33.2	大野町	14.7
2	瑞穂市	29.9	安八町	16.1
3	坂祝町	29.4	養老町	16.9
4	岐南町	29.1	海津市	17.1
5	白川村	27.9	富加町	17.6

単独世帯の増加が大きい市町村（H22-27）

順位	増加数		増加率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	岐阜市	5,568	可児市	27.5
2	可児市	1,852	七宗町	21.8
3	各務原市	1,316	東白川村	20.9
4	多治見市	1,128	御嵩町	20.7
5	大垣市	1,106	輪之内町	19.5

単独世帯が減少した市町村（H22-27）

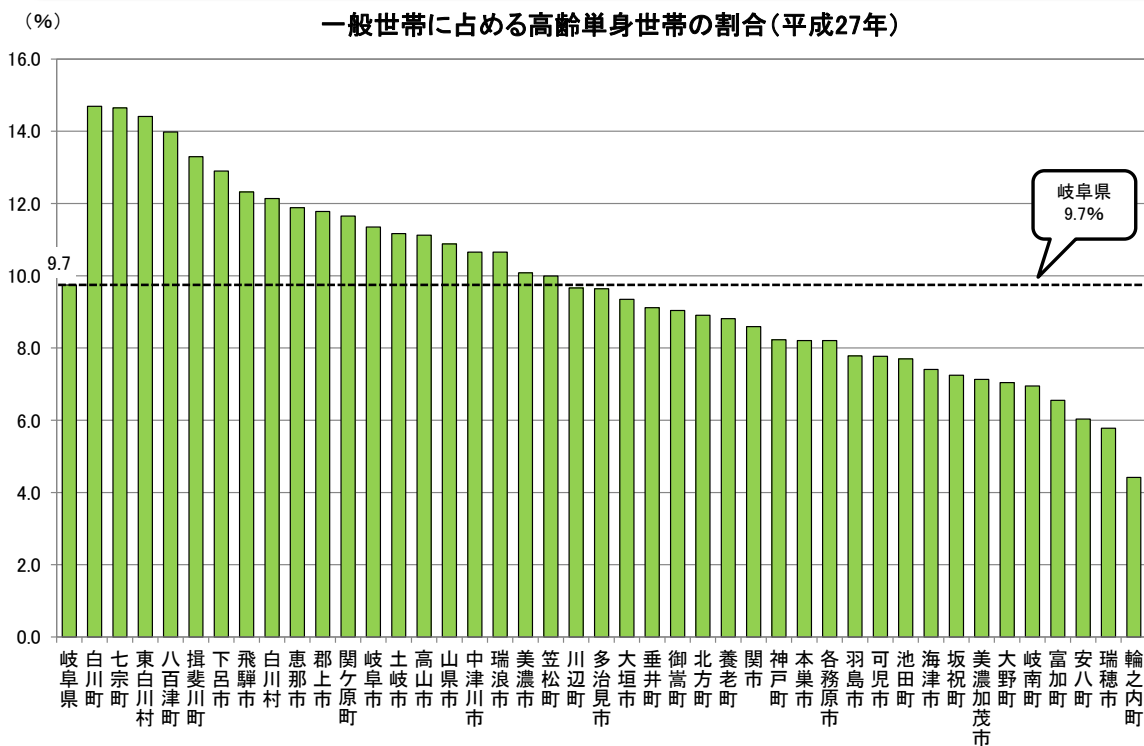
順位	減少数		減少率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	安八町	△217	安八町	△22.3
2	白川村	△20	白川村	△11.5
3	美濃市	△16	美濃市	△0.9

○高齢単身世帯（65歳以上の一人暮らし）はすべての市町村で増加

（地域によっては高齢単身世帯が1割を超える）

高齢単身世帯7万3120世帯は、平成22年から1万5821世帯増加し、すべての市町村で増加している。一般世帯に占める高齢単身世帯の割合は白川町が14.7%と最も高く、次いで七宗町14.6%、東白川村14.4%となっており、最も低いのは、輪之内町が4.4%、次いで瑞穂市5.8%、安八町6.0%となっている。

高齢単身世帯の割合が1割を超える市町村もある。 （10軒のうち1軒は高齢の1人暮らし）



出典：総務省「国勢調査」

高齢単身世帯割合（H27）

順位	割合が高い		割合が低い	
	市町村名	%	市町村名	%
1	白川町	14.7	輪之内町	4.4
2	七宗町	14.6	瑞穂市	5.8
3	東白川村	14.4	安八町	6.0
4	八百津町	14.0	富加町	6.6
5	揖斐川町	13.3	岐南町	7.0

高齢単身世帯の増加が大きい市町村（H22-27）

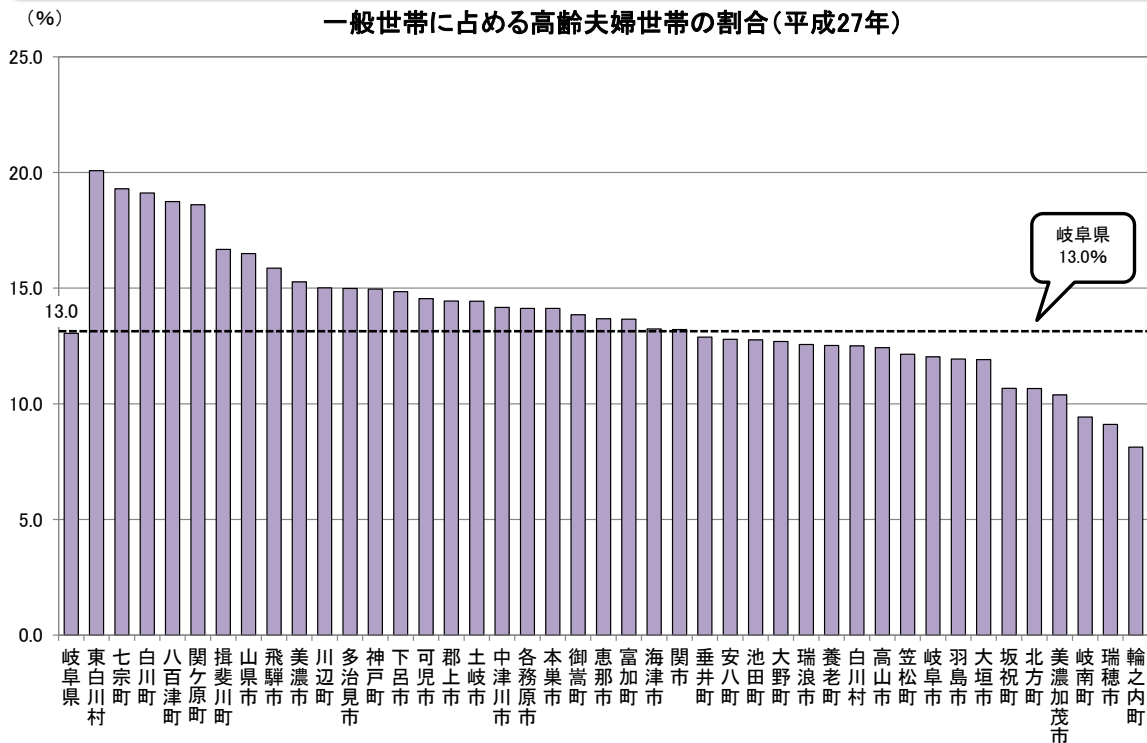
順位	増加数		増加率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	岐阜市	3,465	輪之内町	58.6
2	各務原市	1,080	可児市	58.4
3	大垣市	1,062	羽島市	48.5
4	可児市	1,062	瑞穂市	45.4
5	多治見市	971	坂祝町	44.2

○高齢夫婦のみ世帯（夫 65 歳以上、妻 60 歳以上）は 41 市町村で増加

（地域によっては高齢夫婦のみ世帯が約 2 割）

高齢夫婦のみ世帯 9 万 7900 世帯は、平成 22 年から 1 万 6034 世帯増加し、41 市町村で増加している。一般世帯に占める高齢夫婦のみ世帯の割合は東白川村が 20.1%と最も高く、次いで七宗町 19.3%、白川町 19.1%となっており、最も低いのは、輪之内町が 8.1%、次いで瑞穂市 9.1%、岐南町 9.4%となっている。

高齢単身世帯が多いところでは高齢夫婦世帯も多い傾向



高齢夫婦のみ世帯割合 (H27)

順位	割合が高い		割合が低い	
	市町村名	%	市町村名	%
1	東白川村	20.1	輪之内町	8.1
2	七宗町	19.3	瑞穂市	9.1
3	白川町	19.1	岐南町	9.4
4	八百津町	18.7	美濃加茂市	10.4
5	関ヶ原町	18.6	北方町	10.7

高齢夫婦のみ世帯の増加が大きい市町村 (H22-27)

順位	増加数		増加率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	岐阜市	2,211	瑞穂市	39.9
2	各務原市	1,437	安八町	35.6
3	多治見市	1,411	輪之内町	35.1
4	可児市	1,332	坂祝町	35.1
5	大垣市	1,033	海津市	34.3

※高齢夫婦のみ世帯・・・夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦 1組だけの世帯。

第4章 地域別の労働力状況

(1) 市町村別にみた労働力の状況

○労働力率は飛騨地域で高い。

(現役世代、高齢者ともに労働力率は飛騨地域で高い)

5圏域別に15歳以上人口に占める労働力人口の割合である労働力率をみると、飛騨圏域が62.7%と最も高く、東濃圏域が60.3%と最も低くなっている。飛騨圏域は15～64歳、65歳以上でも最も高くなっている。

市町村別に労働力率をみると、白川村が70.7%と最も高く、次いで岐南町65.9%、坂祝町65.5%となっている。最も低いのは、七宗町の54.2%で、次いで関ヶ原町55.7%、八百津町56.0%となっている。県の労働力率の61.0%と比べると、21市町村が県を上回り、21市町で県を下回っている。

労働力率が高い順 (H27)

順位	15歳以上		15～64歳		65歳以上	
	圏域	(%)	市町村	(%)	市町村	(%)
1	飛騨圏域	62.7	飛騨圏域	82.7	飛騨圏域	30.6
2	中濃圏域	61.6	東濃圏域	79.2	岐阜圏域	26.0
3	岐阜圏域	61.0	中濃圏域	79.1	中濃圏域	25.7
4	西濃圏域	60.6	西濃圏域	77.7	東濃圏域	24.5
5	東濃圏域	60.3	岐阜圏域	76.7	西濃圏域	24.5
	岐阜県	61.0	岐阜県	78.1	岐阜県	25.8

労働力率が高い順 (H27)

順位	15歳以上		15～64歳		65歳以上	
	市町村	(%)	市町村	(%)	市町村	(%)
1	白川村	70.7	東白川村	86.7	白川村	46.4
2	岐南町	65.9	白川村	85.0	東白川村	36.4
3	坂祝町	65.5	白川町	83.8	高山市	33.8
4	輪之内町	65.3	下呂市	82.9	富加町	30.5
5	高山市	65.1	飛騨市	82.7	海津市	30.2

労働力率が低い順 (H27)

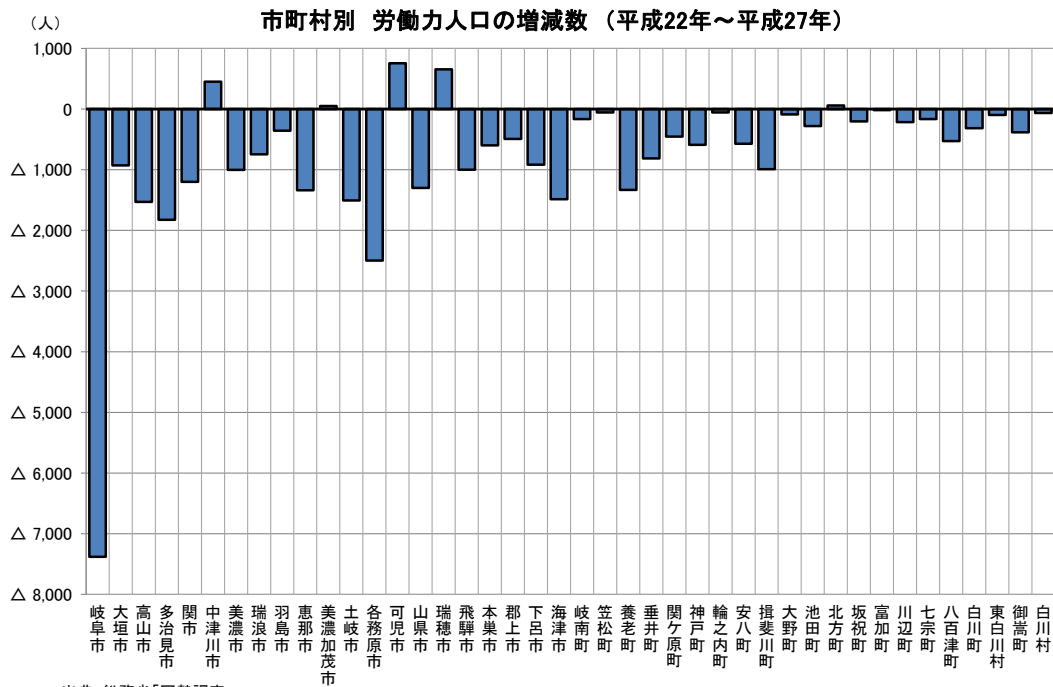
順位	15歳以上		15～64歳		65歳以上	
	市町村	(%)	市町村	(%)	市町村	(%)
1	七宗町	54.2	瑞穂市	75.5	垂井町	19.5
2	関ヶ原町	55.7	笠松町	75.9	各務原市	22.1
3	八百津町	56.0	岐阜市	76.3	関ヶ原町	22.3
4	揖斐川町	57.1	神戸町	76.6	瑞浪市	22.3
5	白川町	57.1	各務原市	76.7	可児市	22.5

○労働力人口は、5 市町で増加、37 市町村で減少

○労働力率は、9 市町村で上昇、33 市町村で低下

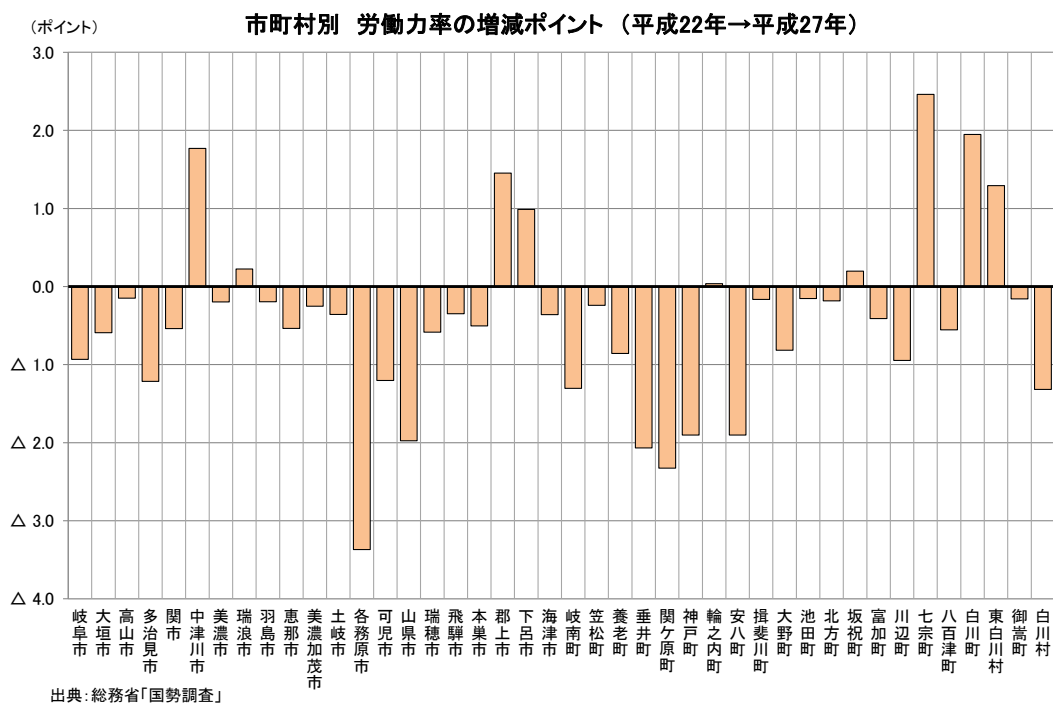
(労働力人口は 37 市町村で減少)

市町村別の労働力人口について、平成 22 年からの増減をみると、可児市が 755 人増、瑞穂市 653 人増、中津川市 452 人増、北方町 59 人増、美濃加茂市 50 人増となっており、その他の 37 市町村では減少している。



(労働力率は 33 市町村で低下)

市町村別の労働力率について、平成 22 年からの増減をみると、七宗町が 2.5 ポイント上昇、白川町 1.9 ポイント上昇など、9 市町村で上昇しており、33 市町村では低下している。

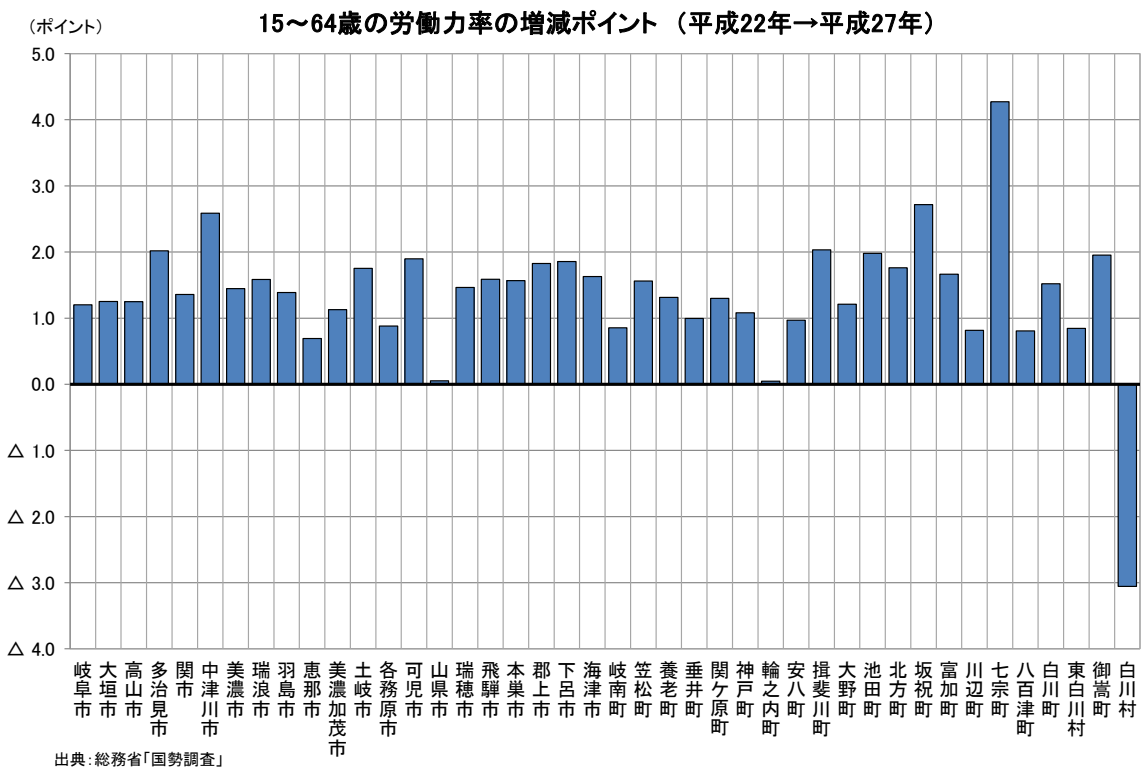
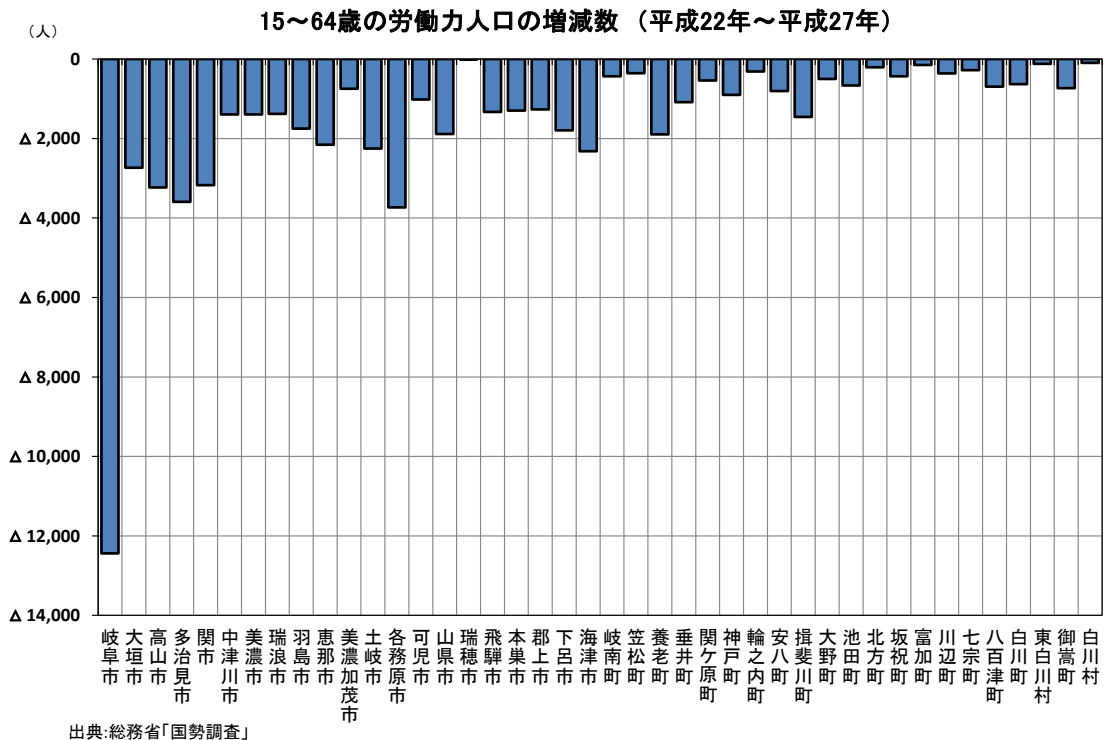


○15～64歳の労働力人口は、すべての市町村で減少

○15～64歳の労働力率は、41市町村で上昇、1村で低下

(現役世代の労働力人口はすべての市町村で減少)

15～64歳の労働力人口について、平成22年からの増減をみると、すべての市町村で減少している。一方、労働力率は、白川村が3.1ポイント低下しているものの、41市町村では上昇しており、現役世代は、人口減少に伴い労働力人口は減少しているものの、労働力率が上昇している。



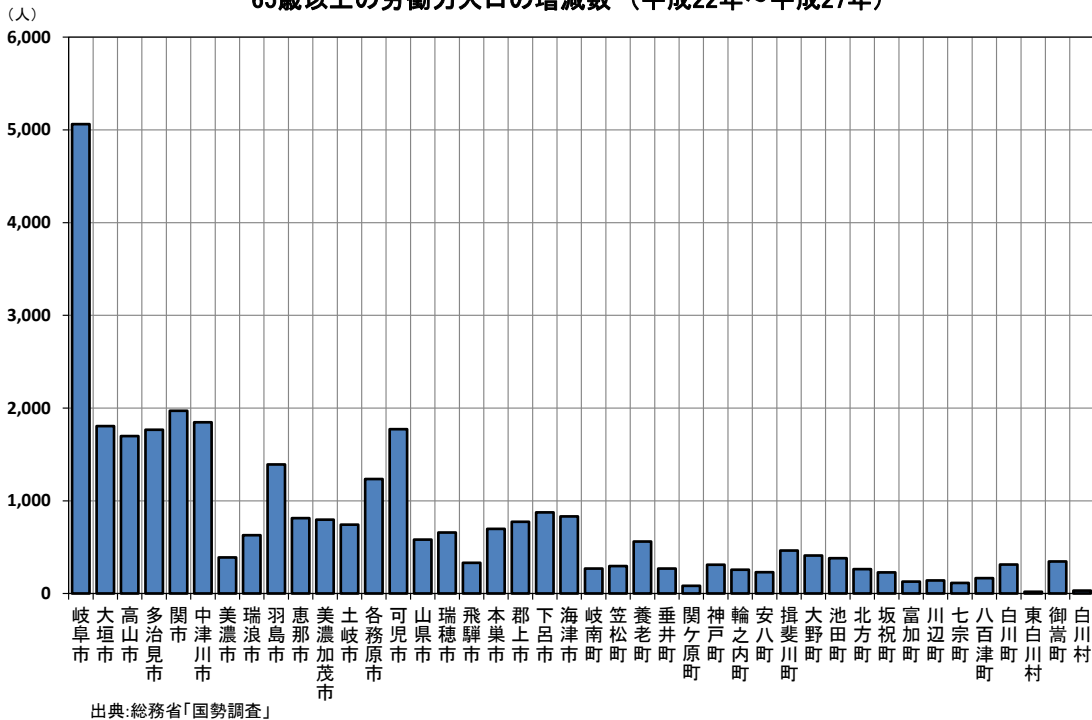
○65 歳以上の労働力人口はすべての市町村で増加

○65 歳以上の労働力率は 41 市町村で上昇、1 市で低下

(高齢者の労働力人口は、大幅に増加)

65 歳以上の労働力人口について、平成 22 年からの増減をみると、岐阜市が 5063 人増、関市が 1971 人増、中津川市が 1846 人増などすべての市町村で増加している。労働力率は、輪之内町が 8.8 ポイント上昇、白川町 8.7 ポイント上昇、七宗町 7.2 ポイント上昇など 41 市町村で上昇しているが、各務原市では低下している。

65歳以上の労働力人口の増減数（平成22年～平成27年）



65歳以上の労働力率の増減ポイント（平成22年→平成27年）

